

# INVESTORS' GUIDE 42nd PERIOD



第42期 株主通信 2021年4月1日 > 2022年3月31日

**SR**<sup>®</sup> 株式会社 システムリサーチ  
SYSTEM RESEARCH

# 人材とIT技術でDX<sup>\*</sup>時代をけん引する。

**Q1** ▶▶ コロナ禍であっても昨年度を上回る勢いですね。

当初の予想を上回る結果となりました。製造業のお客様を中心にIT投資への意欲が根強く、需要が着実に回復しました。利益面でも技術者の稼働率が高まり、さらにはPRM(プロジェクトリスク・マネジメント)による原価管理の徹底が功を奏しました。

本年1月7日付でゼネラルソフトウェア(株)を連結子会社化しました。同社は、1980年の創業という中堅どころですが、関東圏および関西圏の取引拡大を積極的に進めている当社としては、新たな展開が可能となるほか、同社が得意とするソフトウェア・テスト業務のサービス拡充といった新規事業分野への進出が期待できます。子会社化に伴うのれん代は約3.3億円、5年で償却する計画です。

また、かねてより準備を進めてきた創作品モール「あるる」が本年2月にグランドオープンしました。老舗店舗や職人の創作品などを集めたオリジナリティあふれるネットショップです。

「ネットでお店を始めよう」をコンセプトに、ネットショップの作成・運用を支援するサービス「イージーマイショップ」のCMも中部エリアにおいて期間限定(2022年1月~2月)で放送しました。YouTubeでは現在も配信中です。

**Q2** ▶▶ 次の10年を見据えた「Next Vision 50th」の進捗はいかがですか。

昨年、当社は創業40周年を迎えました。次の10年に向け  
①SI事業の拡大 ②ポストSI事業へのチャレンジ ③デジタルトランスフォーメーション(DX)時代の技術対応 ④バックオフィスの

レベルアップ ⑤新キャリアパス制度からなる「Next Vision 50th」を策定し、それを具現化する中・長期計画を進めています。

今のところお客様のIT投資に支えられ進捗度は極めて順調です。ただ、IT人材が今後は不足するとされるだけに、業容拡大のためにも「人材の獲得と育成」が急がれます。この10年で当社は3,000名体制を目指し、上場企業にふさわしい技術力、マネジメント力やガバナンス体制の強化を図ります。

**Q3** ▶▶ DXによる事業の改革が企業の課題となっています。この追い風にどのように対処されますか。

DXへの対応は急務となっています。この4月1日付で社長直属のDX推進委員会を立ち上げ、当社がこれまで蓄積してきた技術とノウハウを結集し、お客様のDXの実現に貢献できる体制づくりを進めています。

今期中を目標にDX認定事業者の認定取得を目指しています。政府が設けた認定制度ですが、国からDXへの取り組みを実践する企業として認められることになります。

また、DXの技術者を育成するため、外部団体によるDX検定試験にも会社を挙げて挑戦しています。DXの知識レベルをランク付けするものですが、すでに複数の社員がスコア600点以上のランク認定を得ています。実務では業務の経験も重要になります。お客様の業務改善やビジネス革新に貢献できるIT人材を徹底して育成します。

**Q4** ▶▶ プライム市場銘柄となりました。あらためて今後に向けた抱負をお聞かせください。

IT投資は企業の競争力の源泉となっています。ITを生業としている当社としては、ITのプロフェッショナルとして、お客様である企業の課題と向き合い、しっかりサポートを続けることが信頼の基本です。お客様へのよりよいサービスが従業員の成長だけでなく、企業の飛躍にもつながります。

当社はこの4月からスタートした東京証券取引所の市場区分見直しで、プライム市場銘柄となりました。機関投資家の投資対象となるにふさわしい時価総額(流動性)を持ち、より高いガバナンス(企業運営を行う上で必要な管理体制のこと)水準を備え、グローバルな投資家との建設的な対話を実施できることが要求されています。

今後もプライム市場銘柄の名に恥じぬよう、「継続的な利益確保」「企業価値の向上」「雇用機会の安定」に努めてまいります。なお、当期は1株当たりの配当金額を10円増とし、60円といたしました。引き続き、皆様のご支援をよろしくお願い申し上げます。

※DX(デジタルトランスフォーメーション)：  
デジタル技術を用いて、お客様の業務を改善・変革することを指す。

## ごあいさつ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

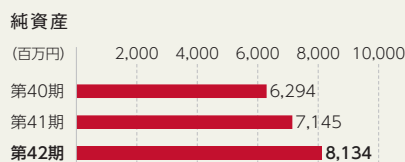
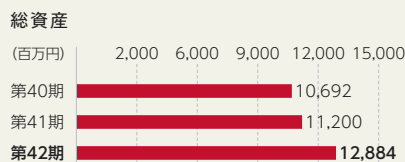
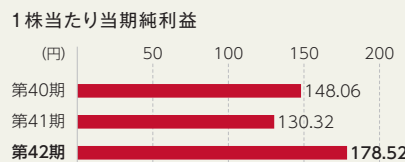
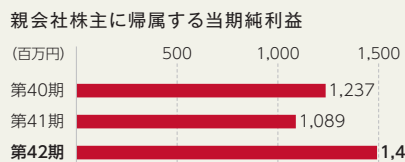
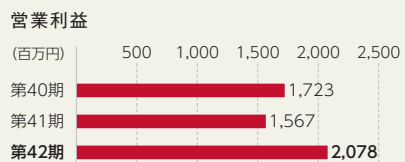
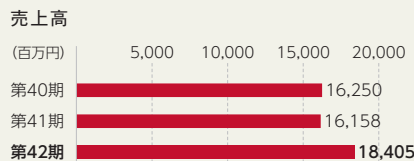
株式会社システムリサーチは、2022年4月4日をもって、東京証券取引所の新市場区分「プライム市場」に移行いたしました。皆様の日頃のご支援にあらためて感謝申し上げますとともに、ここに第42期(2021年4月1日から2022年3月31日まで)の取り組みについてご報告させていただきます。

2022年6月

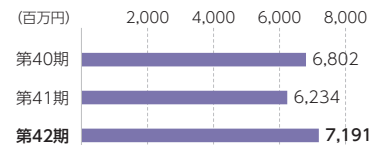
代表取締役社長 平山 宏



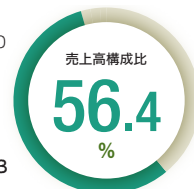
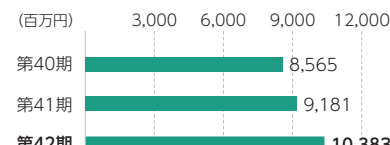




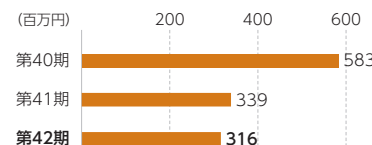
SIサービス業務



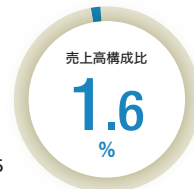
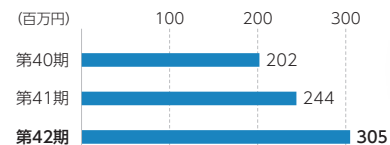
ソフトウェア開発業務



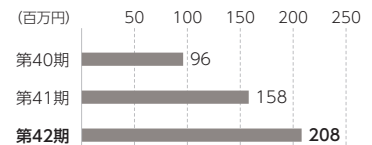
ソフトウェアプロダクト業務



商品販売

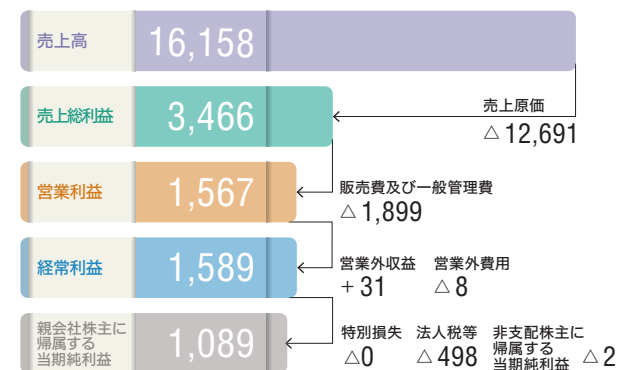


その他(WEBサイト運営等)

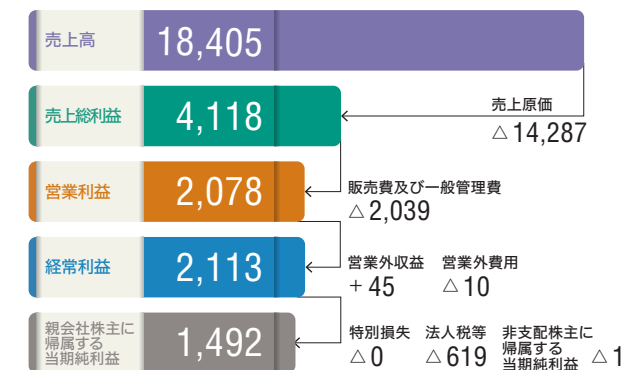


連結損益計算書の概要 (単位:百万円)

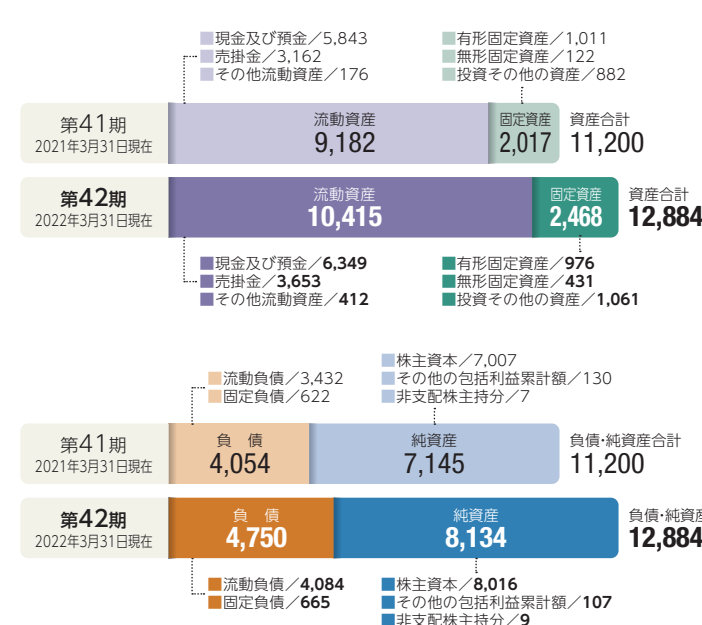
第41期 2020年4月1日から2021年3月31日まで



第42期 2021年4月1日から2022年3月31日まで

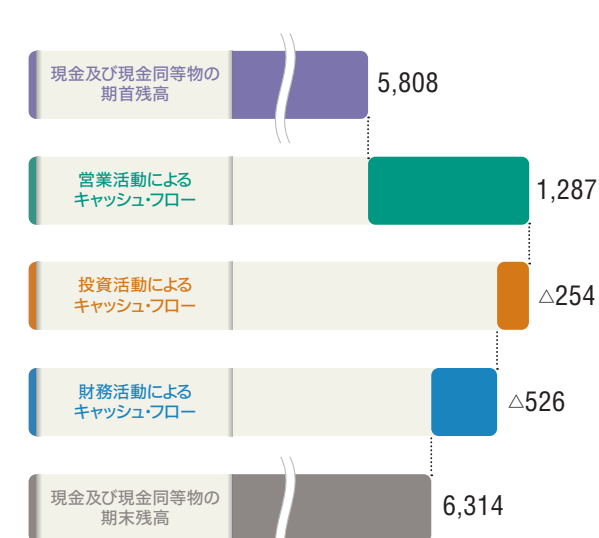


連結貸借対照表の概要 (単位:百万円)



連結キャッシュ・フロー計算書の概要 (単位:百万円)

第42期 2021年4月1日から2022年3月31日まで



## サステナブルな社会の実現に向けて

当社のマテリアリティ(重要課題)のうち、「健康経営への取り組み」および「安心・安全・豊かな暮らしへの取り組み」の2項目における新たな取り組みをご紹介します。

### 健康経営への取り組み

当社の基本理念にある『会社は社員とその家族の繁栄を目的とした社会である』『人生は豊かでなければならない』に基づき、従業員の健康保持・増進を経営の最重要課題のひとつとし、健康経営に取り組んでまいります。

#### 主な活動実績

- 健康経営基本方針・健康宣言を策定および常時携行用にカード化
- 婦人科検診における補助金制度導入
- 「メンタルヘルス・ラインケア教育」によるヘルスリテラシーの向上
- 取引先の健康経営の状況確認
- 管理職を対象とする「女性の健康に関するセミナー」を活用した女性特有の健康関連課題に関する知識習得
- ストレスチェックの集団分析および改善活動

### 健康宣言

#### 健康宣言

1. 社員一人ひとりとその家族の健康が全ての基盤とし、社員の健康保持・増進を経営の最重要課題として取り組みます。
2. 社員一人ひとりがいきいきと働くことができる安全で快適な職場づくりを推進します。

「健康経営優良法人2022(大規模法人部門)」に認定



### 安心・安全・豊かな暮らしへの取り組み

#### 国連グローバル・コンパクトに署名

国連グローバル・コンパクト(以下「UNGC」)とは、各企業・団体が責任ある創造的なリーダーシップを発揮することによって、「社会の良き一員」として行動し、持続可能な成長を実現するための世界的な枠組み作りに参加する自発的な取り組みです。

当社は、UNGCが掲げる「人権」「労働」「環境」「腐敗防止」の4分野10原則を支持・実践し、働きやすい労働環境の確保、人権の尊重に取り組むことで持続可能な社会の実現とグループの成長の両立を目指してまいります。



#### 国連グローバル・コンパクトの4分野10原則

人 権	<b>原則1</b> ：人権擁護の支持と尊重 <b>原則2</b> ：人権侵害への非加担
労 働	<b>原則3</b> ：結社の自由と団体交渉権の承認 <b>原則4</b> ：強制労働の排除 <b>原則5</b> ：児童労働の実効的な廃止 <b>原則6</b> ：雇用と職業の差別撤廃
環 境	<b>原則7</b> ：環境問題の予防的アプローチ <b>原則8</b> ：環境に対する責任のイニシアティブ <b>原則9</b> ：環境にやさしい技術の開発と普及
腐敗防止	<b>原則10</b> ：強要や贈収賄を含むあらゆる形態の腐敗防止の取り組み

特集

電子化の頼りになる助っ人  
「デジペーパー」

# 「紙」から 「デジペーパー」へ 業務改善は この一歩から



AIソリューションチーム  
シニアマネージャー  
もうり しげひろ  
毛利 茂弘

## 紙のデータだけでは せっかくの宝が“持ち腐れ”

AI(人工知能)やビッグデータを活用して企業の業務改善のお手伝いをするのが、私たちAIソリューションチームです。

まずお客様の業務の分析からスタートするのですが、「これまでのデータは？」と伺うと、「紙ならありますけど……」とおっしゃることがほとんどです。紙で残されたデータが企業にとって大切な資産であることはもちろんですが、それをAIで分析したり活用したりするためには、電子データに置き換える必要があります。そういった作業には時間も費用も掛かります。つまり、従来の紙だけのデータではせっかくの宝の山を活かしづらく“持ち腐れ”状態にしてしまいかねません。

業務の“ペーパーレス化”が推奨されるようになって久しく、法改正や新型コロナウイルス感染症の影響もあり、その動きは加速していると言えます。しかし全ての業種に行き渡っているとは言い難く、今後ITを使った業務改善の意義や利便性をより一層実感していただけるように尽力することが、私たちの役割と言えるでしょう。

## 「紙」の使い勝手をそのままに 使えるデータを残したい

紙が減らない理由のひとつに、現場担当者の電子化への抵抗があるとされています。「紙のように自由に書き込めない」「キーボードの操作が面倒だ」という声その代表例です。それならば簡単に入力でき、かつ融通の利く仕組みさえできれば、現場の皆様にも受け入れられるのでは？これが「デジペーパー」開発のきっかけとなり、「紙と同じような感覚で簡単に書き込んだことが電子化できる」製品を作ることがチームの目標になりました。

企業には、日々業務改善の成果をめぐって葛藤があります。電子データの蓄積が業務改善の決め手であることは、管理部門・現場を問わず理解されているものの、それぞれの立場から見た課題が異なるため、導入を躊躇されるケースも見受けられます。

管理する側と作業する側、2つの立場を越えて支持されるものを作り上げることが、普及に繋がる大切なポイントだと考えています。

## お客様の“これまで”そして“これから”に寄り添う 自由なカスタム性こそ、最大の強み

「デジペーパー」の主な機能として、以下のようなものが挙げられます。

- 手書き文字をテキストに変換
- 電子サイン
- 生年月日などの自動計算入力
- テンキーを利用した数字入力
- 郵便番号からの住所引当
- 姓名への自動カナ入力
- 撮影/写真取込み
- フリーハンドで文字や図形を書き込むことができる自由書き 他



中でも手書き文字のテキスト変換機能は、手書き文字特有の“くせ字”に対して、圧倒的な識字率と変換スピードの速さを実現しています。また、個人の筆跡や書いた日時・場所などをそのまま記憶できるようにするため、自筆の署名を電子サインとして残すことができます。

そして最も強調したいのは、お客様のこれまでの運用や利用端末を極力変えることなく、高い柔軟性をもってお客様が求める要件に沿ってカスタムすることが可能という点です。

システムリサーチがこれまで培った開発技術を駆使し、単なる物売りではなく、構築まで一貫して行うことで、お客様の幅広いニーズにお応えしています。

## 点検、契約、棚卸—— これならいまず即戦力に

業務改善のニーズはあらゆる業態に及びますが、「デジペーパー」の強みと特性を熟知した私たちがまずお勧めしたいのは、「点検」「契約」「棚卸」業務の3点です。

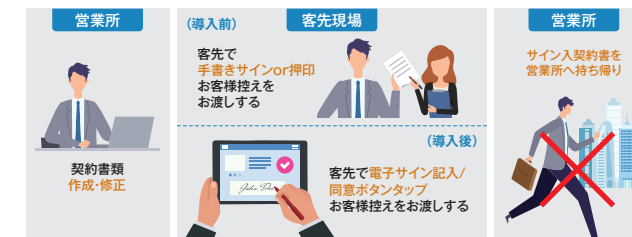
1つ目の「点検」では、機器のメンテナンスで客先を訪問した際、「作業報告書」に不具合箇所の写真を添付したり、現場から即座に報告を行ったりすることで、迅速かつスムーズな情報共有ができます。

2つ目の「契約」では、電子サインに多くの本人確認情報を付与することで、今まで電子化を諦めていた重要な書類にも有効に活用できます。また一度書いていただいた情報は、必要に応じて別の記入場所

に転記する機能をつけることができるため、複数の書類に何回もサインなどを書いていただくといったお客様の手間を省けます。

「点検」「契約」については、外出先からお客様のサイン入りの報告書や契約書類を会社に持ち帰る必要がなくなるため、移動時間はもちろん残業時間も削減できます。さらに紛失を防ぐことにも役立ちます。

3つ目の「棚卸」では、直接タブレットやスマートフォンに入力することで、リアルタイムで在庫状況が把握でき、かつ従来行っていた自社システムなどへの転記作業も不要になります。



このようにデジペーパーは、DXの概念そのものであり、お客様の業務改善になくてはならないソリューションとして価値を高めていけるものと確信しています。

収益基盤をしっかりと構築し、システムリサーチのDXビジネスを確立していきたいと考えております。

【お問い合わせ先】  
株式会社システムリサーチ  
AIソリューションチーム  
TEL.052-413-3118(代)

AIソリューションチーム  
リーダー  
いのうえ  
井上 まな





■ 会社概要

会社名	株式会社システムリサーチ
英訳名	SYSTEM RESEARCH CO., LTD.
本社所在地	名古屋市中村区岩塚本通二丁目12番
会社設立	1981年(昭和56年)3月
資本金	5億5,015万円
上場証券取引所	東京証券取引所(プライム市場)
従業員数	連結1,302名 単体1,145名
主な事業内容	① SIサービス業務 ② ソフトウェア開発業務 ③ ソフトウェアプロダクト業務 ④ 商品販売 ⑤ その他(WEBサイト運営等)

■ 役員 (2022年6月24日現在)

代表取締役会長	山田 敏行
代表取締役社長	平山 宏
取締役 役	梅本 美恵
取締役 役	秋山 政章
取締役 役	渡邊 貴文
取締役 常勤監査等委員	上田 美代子
取締役 監査等委員(社外)	安井 悟
取締役 監査等委員(社外)	近藤 登
取締役 監査等委員(社外)	越川 靖之
取締役 監査等委員(社外)	鈴木 仁

■ ホームページのご案内

ホームページでは、当社の企業活動全般の情報をご用意しております。株主・投資家の皆様向けの情報として、決算発表資料等を適時掲載しております。

【ホームページアドレス】  
<https://www.sr-net.co.jp/>



トップページ



IRサイト トップページ



■ 主要な事業所

本社	名古屋市中村区
開発センター	名古屋市中村区
技術センター	名古屋市中村区
情報センター	名古屋市中村区
東京支店	東京都新宿区
大阪支店	大阪市西区



■ 株式状況 (2022年3月31日現在)

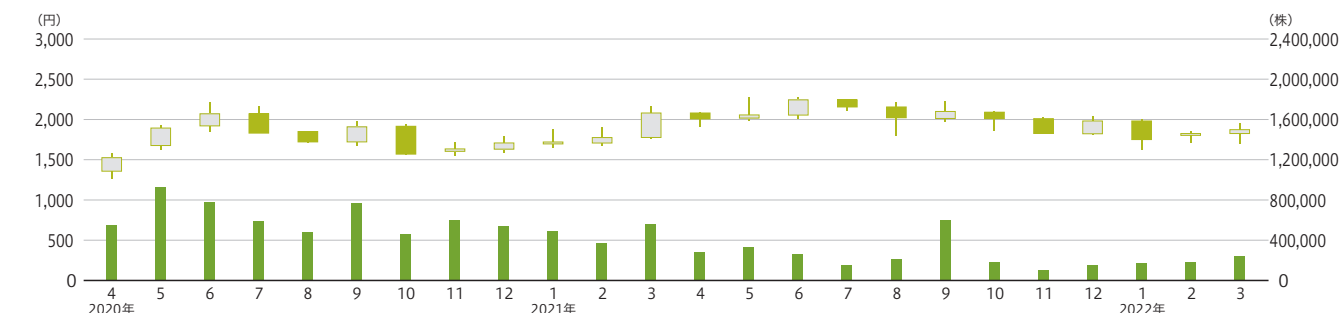
発行可能株式総数	27,200,000株
発行済株式の総数	8,360,000株
株主数	3,803名
単元株式数	100株

■ 大株主の状況

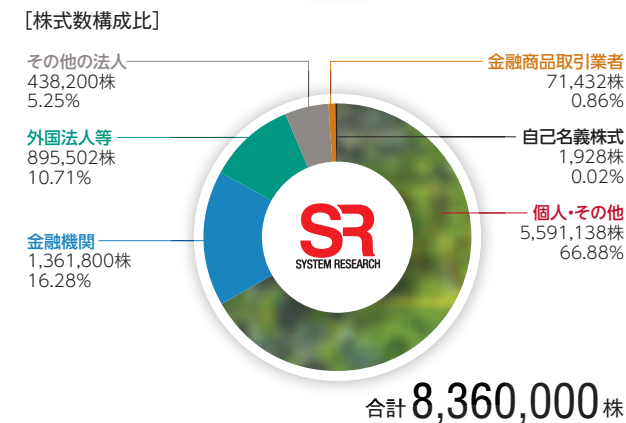
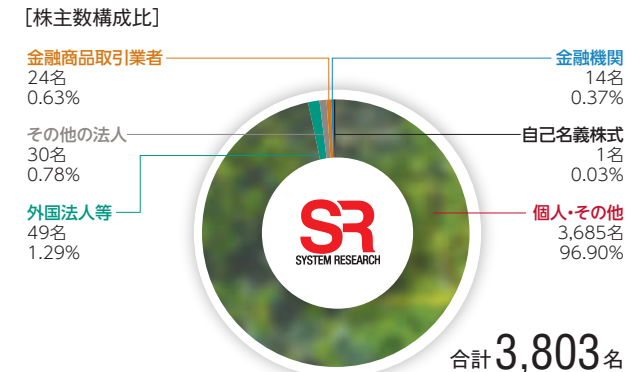
株主名	持株数(株)	持株比率(%)
山田敏行	1,367,000	16.35
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	799,200	9.56
システムリサーチ従業員持株会	576,064	6.89
伊藤範久	369,000	4.41
STATE STREET BANK AND TRUST CLIENT OMNIBUS ACCOUNT OMO2 505002	315,000	3.76
布目秀樹	227,300	2.71
株式会社豊通シスコム	200,000	2.39
BBH FOR FIDELITY PURITAN TR: FIDELITY SR INTRINSIC OPPORTUNITIES FUND	200,000	2.39
大澤日出巳	183,000	2.18
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	157,700	1.88

(注) 持株比率は、自己株式1,928株を控除して計算しております。

■ 株価および出来高の推移



■ 株式分布状況




## ■ 株主メモ

決 算 期	毎年3月31日
定 時 株 主 総 会	毎年6月
基 準 日	毎年3月31日
株 主 名 簿 管 理 人	東京都千代田区丸の内1丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内1丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
単 元 株 式 数	100株
公 告 方 法	電子公告により行います。ただし、やむを得ない事由により 電子公告ができない場合、日本経済新聞に掲載します。 公告掲載アドレス ( <a href="https://www.sr-net.co.jp/ir/announce/">https://www.sr-net.co.jp/ir/announce/</a> )
上 場 証 券 取 引 所	東京証券取引所 (プライム市場)
証 券 コ ー ド	3771

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。  
株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

## ■ 株主優待のご案内

株 主 優 待	毎年9月末日現在の当社株主名簿に記載または記録された100株以上保有の株主様を対象にクオカード1,000円分を贈呈いたします。	
---------	---	---